

だし丸くんしपोर्ट 第八回 はんだ山車まつり

第5回

はんだ山車まつりの趣旨目的について

第八回はんだ山車まつり実行委員会会長

山田 やまだ

正行 まさゆき



天高く蒼く澄みわたる秋晴れの日、待ち焦がれた第八回はんだ山車まつりが繰り広げられている。一斉にまちが華麗な山車絵巻で彩られ、31輛の山車の吹き流しが心地よい風にたなびきその雄姿を魅せる。颯爽たる祭り人の粋な立ち振る舞いが眩しい。あちこちで観客の感嘆のため息がもれる。それぞれの会場は人ひとりで埋め尽くされ感動興奮のつぼとなる。

観る人、やる人、支える人の一体感が何と素晴らしいことか。この楽しい夢も束の間、ベッドから落ちて目が醒めた。はんだ山車まつりは、昭和54年に始まった。各山車組様はもとより、半田商工会議所、行政機関、市民の皆様のご理解とご

協力、全国の皆様のご声援があつてこそ今日まで続けられてきた。改めて感謝すると共に、今一度発起の趣意書をご紹介したい。

「戦後の急激な経済成長は、私達市民の生活環境及び生活の様式に大きな変化をもたらした。私達の物質面での生活水準は大きく引き上げられ、村や町は高度の都市化が進められてきた。そんな無我夢中の経済成長を押し進めるなかで私達はかげがえのない大切なことを忘れてしまった。それは、祖先伝来の『美しい日本の風土』と『美しい日本人の心』の確実な継承である。今、私達が周囲を見まわすとき、国政においても、企業においても、あ

るいは個人の精神生活においても自己中心的な考え方が横行し、心の貧しさ起因する様々な社会問題がクローズアップされている。今、私達は明るい豊かな半田市の建設を目指したいと考える。その基本は思いやりの心を原点とした連帯の輪を大きく広げることであり、美しい日本人の心をと

り、郷土の歴史と伝統を基調とするほのぼのとした楽しい運動であり、コミュニティづくりを目的とする、大きな市民運動の推進である。幸いにも、当市においては各地域に歴史と伝統に育まれた全国に誇り得る優秀な山車が数多く現存している。それは地域の真実であり、地域のシンボルで

もある。そんな市内全地域の真心が一堂に集結するとき、それは新しい大きな半田市のシンボルであり、市民の大きな誇りとなる。8万9千全市民が参画し、協力して作り上げる山車31輛を結集するはんだ山車まつりは、地域に滞まることなく必ずや全国にその名を広め、半田市の観光開発と郷土文化の保存継承に大きく寄与し、市民の連帯意識と思いやりの心を育てる、大きな礎となることを確信している。」「(はんだ山車まつり発起時の趣意書より引用)

はんだ山車まつりが、市民の連帯を育み、人づくり、まちづくり、夢づくり、また郷土の愛と誇りづくりに寄与できますよう願ってやまない。

防災 Memo

台風

日本に大きな災害をもたらす台風の多くは9月にやってきます。台風は事前に進路を予測できるので、接近する前に備えておきましょう。



●家の外の備えをしましょう

側溝や排水溝の掃除をし、水はけをよくしておきましょう。鉢植えなど強風に飛ばされる可能性のあるものは、室内にしまおうか、飛ばされないように固定しましょう。

●最新の台風情報を確認しましょう

テレビやラジオ、インターネットなどで発表される気象情報をこまめに確認しましょう。

●早めに避難行動をとりましょう

避難勧告や避難指示があったら、早めに避難行動をとりましょう。避難情報が出されていなくても、危険を感じたら自主的に避難するようにしてください。

●問合わせ 防災交通課 ☎84-0626